《認定調査票の作成時のお願い（綾瀬市)》

【表記方法について】

① 記入漏れや変換ミス等がないかを確認の上、提出して下さい。
② 個人が特定できる表現(氏名、病院名、施設名、地名など)は、記載しないでください。
③ 「長女様」、「ご家族」など「様」や「ご」は不要です。
④ 「～していただく」などの謙譲語や丁寧語は使用しないでください。
⑤ 日付は「令和８年８月８日」と和暦で記載してください。
また、「昨年」や「〇年前」ではなく、「令和〇年」と記載し、今年の内容に関しても、月・日のみではなく、「令和８年〇月」（分かれば日付まで）と記載してください。
⑥ おおよその回数の表記は「～」で統一して下さい。例「２～３回」

＊認定調査票

・「Ⅰ．調査実施者(記入者)」の項目にある右下(調査者番号の下)の四角には調査者の所属と名前を記入して下さい。(指定市町村事務受託法人以外)
・家族状況は、施設入所中や入院中であっても、仮に在宅に戻ったときに家族と同居するか否かの視点でチェックして下さい。わからない場合は、「独居」にチェックして下さい。

＊概況

・立会いの有無、誰が立ち会ったのかを記載して下さい。
更新申請については、前回の調査時からの変化を確認して下さい。
・区分変更申請の場合は、申請理由の記載をお願いします。
・申請理由が交通事故による場合は、事故が自損かそれ以外（相手方がいるのか）かの聞き取りを行い、記載をお願いします。
例：交通事故（自損事故)、交通事故（相手有）　等
・申請理由が労災による場合は、通勤途中か勤務中かの聞き取りを行い、記載をお願いします。
例：労災（通勤途中)、労災（勤務時間中）

＊特記事項(全体)

・１群～３・５群については、「できる」「介助されていない」を選択の場合も含めてすべての項目において記載をお願いします。
・選択に迷った場合は、具体的な状況や迷った理由を特記事項に記載してください。
・「有無」で評価する項目について、「時々」「たまに」の表現は、曖昧にな

ります。「月１回ほど」「週１～２回」「毎日のように」等、具体的にお願いします。

・「介助によって行う」「介助者が一部介助する」の文言のみでは、曖昧です。具体的にどんな介助をし、自身では何ができるのか分かるように記載をお願いします。

・「～することもある」と表現する場合は、そうでない場合の状況とそれぞれの頻度がわかるように記載お願いします。

・『適切な介助』を取る場合は、介助が必要な状況と具体的な介助の方法を記載してください。

＊特記事項(項目別)

・1-1　「麻痺」は両上下肢について、挙上・保持の状況を記載し、挙上の程度は、「〇割挙上」と割合で記載してください。

・4 群　全て「なし」の場合は、項目ごとに記載は不要です。
「立会いの方に確認し、該当する項目はない。」等、状況が分かるように記載してください。

・6 群　病院調査で該当するものがない場合は、「看護師に確認し、該当する項目はない。」等、状況がわかるように記載してください。